
ALICE

HAWA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

A L I C E

【Nコード】

N 2 0 7 4 P

【作者名】

H A W A

【あらすじ】

「忘れられた”物語”はやがて壊れてしまう」
不思議の国に迷い込んだアリスは、忘れてしまった「物語」を取り戻すため、自らの記憶に立ち向かうために歩き出す。

f i r s t s t o r y 時計の針（前書き）

初小説です。

いろいろ分からないことが多いので、感想などくださるとうれしいです。

first story 時計の針

とある大きな国の

大きな敷地の

大きな屋敷の

きな部屋の

大

すみの、すみ

小さな少女は

「 ナイテイタ 」

first story 時計の針

カチ カチ カチ

時計は一定のリズムを刻みながら進む。

カチ カチカチ

カチ

ゆっくり、ゆっくりとリズムはくずれゆく。

彼の前に現れた巨大な“時計の針の影”

小さな時計のくずれたリズムにあわせ、針の影は音もなく動く。

やがて一回りした影の針は、大きく形を広げ、空間にひびを作り出した。

「扉は開かれた。・・・迎えにいこう。」

小さく、空気を出来るだけ震わせないように呟く。

「ああ」

小さな返事と、無言でうなづく子供たちを振り返り、小さく微笑む。

「取りかえそう。僕たちの世界を。」

ほら、早くしないとお茶会が始まってしまふよ・・・？

小さく息をつく。

肺には冷たい空気だけが入ってくる。

寒い 寒い

まるで、なにかもの存在を否定しているようだ。
自分のことも含めて。

小さく頭を振り、少女は目の前の扉を押した。

書庫室 と書かかれた扉が音を立てて開いた。

少女・・・アリス＝ラトウィジ には何処にも居場所がなかった。

特別に与えられた、きらびやかな装飾の施された自室でさえ彼女の居場所ではなかった。

この巨大な屋敷で彼女の居場所は、この幾万もの物語であふれた部屋だけだった。

この巨大な屋敷の中で、一番古ぼけた書室の存在はつい最近知ったものだった。

偶然この部屋を見つけた日以来、

アリスは貪るように“物語”を読み続けた。

そして今日、

また新たな「物語」に出会うことになる。

本棚の奥を覗いた時に見つけた一冊の本。

黒い表紙には題名が書いていなかった。

ゆっくりと本を開くと・・・真っ白なページ。

何枚めくっても、文字一つ書いていない本だった。

最後のページまでめくり終わり、ため息をついた瞬間、

手に生ぬるい感触が走った。

手元をみると、真っ白だったはずの本はいつのまにかインクでもぶちまけたように黒い染みができていた。

その染みはどんどん広がっていき、机にまで大きなしみができる。

「なに・・・これ・・・？」

染みはひろがりつつけ、人の形のようになっていた。

“ジャワ”

奇妙な音が手元からした。

「っ！」

アリスの手首にまで染みはひろがっていた。

振り払おうとするも、まるで手のように手首を締め付けてくる。

ジュワ ジュワ

黒い手が目の前にせまり、思わず目を閉じる。

そのとき、アリスの周りを強い風が通り過ぎた。
そっと目を開けると、

目の前にいた手は消え、その代わりに奇妙な二人の子供が覗き込んでいた。

幼い隻眼の少女と、アリスと歳の近くみえる少年だった。

「ったく、手のかかる姫さんだなあ」

少年があきれたような声をだし、アリスに手を差し出した。

「え……あ、あの」

状況を理解できず、声がでない。

「いいから今は早くここを離れるぞ。」

「まだ、やつらはいるかもしれない」

“やつら”とは、さっきの手だろうか。

いろいろと聞きたいことがあるのに声が出ない。

ジュワ ジュワジュワ

先ほどのいやな音がまた響きだした。

みると、すぐ５メートル先には、黒い人影のようなものがいくつも現れていた。

「ちっ！急ぐぞ！！」

「はやく！」

少年が何かしらを投げて走り出す。

小さな少女は無言でアリスを脇に抱えて走り出した。

カチ カチ カチ

小さく時計の音が響き、空間にひびが入る。

それは落とし穴のように床に広がり、アリスたちをそのまま飲み込んだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2074p/>

ALICE

2010年11月29日04時08分発行